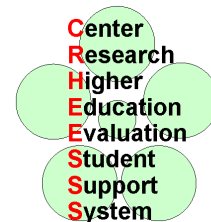


週刊センターニュース

No.309



第309号(2010年5月27日)木曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: <http://www.rche-kanazawa-u.jp/>

〇〇〇「第3回授業改善とFDに関する教員アンケート」へのご協力をお願い 〇〇〇

本学は『金沢大学憲章』において、「教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する」ことを宣言しています。また、周知のように、大学設置基準、大学院設置基準、および専門職大学院設置基準によって全ての課程で、「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」が法的に義務づけられました。

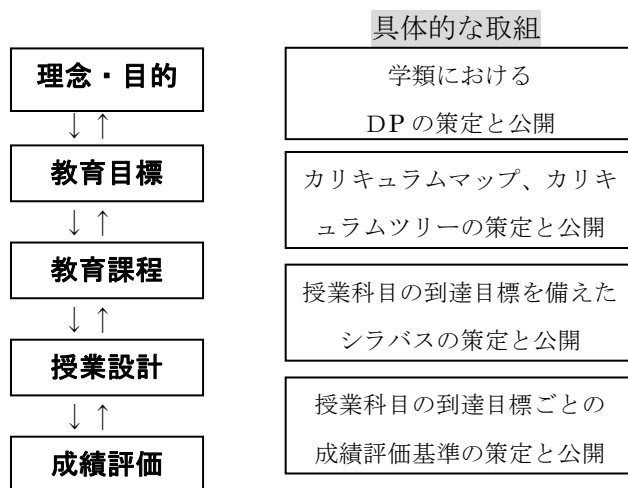
FDセンターたる当センターでは、本学において必要なFD(授業内容・方法の改善のための研修・研究)とは何かを検討するため、専任の全教員に対して、「第3回授業改善とFDに関するアンケート」を実施させていただくこととしました。

今回は授業改善に必要な知識が教員のキャリア、所属や経験でどのように違いがあるかを検討するための設問を中心に行います。アンケートはアカンサスポータルを通じて行い、ご回答いただきます期間は5月26日から6月14日です。アンケート結果は、当センターで分析した後、教育企画会議に報告します。また国内外での比較や調査研究に使用する可能性もあります。各部局におけるFD活動に活用して頂けるよう、アカンサスポータル内のアカンサスFDのコーナーにても確認出来るように致します。趣旨を踏まえ、ご協力のほどよろしくお願ひします。

※時間割上の特別コースに掲載されている「アンケート」→「その他」→「第3回教員アンケート」をクリックして、「第3回授業改善とFDに関する教員アンケート」をクリックして回答お願いします。また設問内容等に関する質問は、大学教育開発・支援センター 教育支援システム研究部門 山田(内線5768、masanori-y@el.kanazawa-u.ac.jp)までお寄せください。

〇〇〇 教育課程編成方針と学位授与方針の策定について 〇〇〇

5月14日に開催された第2回教育企画会議において、本学の第2期中期目標・中期計画ならびに平成22年度年度計画に掲げられた学域・学類の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー、CP)と学類の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー、DP)の明確化・具体化の作業方針が示された。CP、DPの策定作業は、カリキュラム検討委員会の下に、各学域・学類から各1名が参加する「CP・DP策定WG」を組織し、同WGおよび各学域・学類で進められるとのことである。また、この策定作業には大学教育開発・支援センターが全面的に協力することとなっている。これを受けて、5月20日に開催された第1回カリキュラム検討委員会では、当センターの評価システム研究部門の堀井教授と渡辺准教授がCP、DP策定の意義と策定に必要な作業概要について説明を行った。以下の図は、その際、渡辺准教授から説明されたものであるが、CPとDPの策定においては、各授業科目の到達目標



出典：沖裕貴氏の資料（「教育シンポジウム目標達成型大学教育改善と山口大学におけるFD活動」他）を修正

とその達成度評価方法の明確化と公開、DPの各項目とどの授業科目とがリンクしているかを明示するカリキュラムマップの作成、授業科目間の関係性を示すカリキュラムツリーの明確化などの作業と連動させる必要がある。また、図に示されている双方向の矢印は、カリキュラムマップを念頭においた継続的な授業科目の内容・方法の改善とそのための仕掛けを設計することが必要であることを示している。このような高等教育における質保証システムや達成度評価について、当センターの評価システム研究部門には、国内ばかりでなくアメリカ、オーストラリア、欧州の事例研究知見の蓄積がある。CP・DP策定WGは、当センターの評価システム研究会と共催で開催される予定であり、当センターの研究成果を本学のCP・DP策定作業に還元したいと考えている。

このようなCP・DP策定は、大学教育の公開性が求められるなかで必須のものとなってきている。4月26日に出された中央教育審議会大学分科会質保証システム部会の「教育情報の公表の促進に関する諸施策について（審議経過概要）」では、CPやDPの公開を法令により努力義務とする方向で検討されていることが示されている。認証評価との連動についても触れられており、質保証システムの確立と教育情報の公開は必須となりつつある。

上述した当センターの評価システム研究会の日程については改めてお知らせするが、第1回は6月10日または6月24日の16時30分からとなる予定である。CP・DP策定WGと共催で開催されるとともに、公開で行う。多くの教員の皆様の参加をお願いしたい。

（文責 大学教育研究開発部門 西山宣昭）

○●○ 新着資料のお知らせ ○●○

大学教育開発・支援センターに、下記の報告書等が届きました。資料は、図書室（総合教育1号館6階613号室。センター共同研究室向かい）に所蔵しております。

- ・ 直井勝彦、鮫島俊之、養王田正文『科学立国人材育成プログラム 最終報告書』東京農工大学、2010年
- ・ 同志社大学PBL推進協議会『PBLにおける学びの空間デザイン』（同志社大学PBL推進協議会発行ブックレットVol.1）、2010年
- ・ 同志社大学文部科学省大学教育・学生支援推進事業大学教育推進プログラム『プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育～課題探求能力を育成するPBL教育の方法論的整備：未来を切り拓くPBL「教育」の壁を越えて』シンポジウムレポート、同志社大学PBL推進支援センター、2010年